



ISBN 978-4-10-434606-6

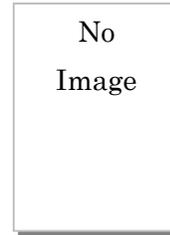
平凡

角田 光代著 新潮社

誰でもきっと選ばなかった方のことを考えたことがあるはず。後悔しているわけではないけど、もし別の方を選んでいたらどうなっていたら。この本は、そんな6人の選ばなかった方の話が描かれています。もしあの時別れていなければ、もし仕事をやめていなければ、もし結婚していなければ、もし…

(日本文学担当 二村)

中島書店



本体 1,500 円+税 978-4-89637-637-1

おかあさんはね

木下さんのおすすめ

エイミー・クラウス・ローゼンタールぶん、トム・リヒテンヘルドえ、高橋 久美子やく マイクロマガジン社

おかあさんになって初めてわかることや、大きな命の繋がりを感じさせてくれる絵本です。我が子の健やかな成長を願う無償の愛に感動しました。子育てに夢中だった頃や母親の思い出が懐かしく蘇り、きっとあなたも「おかあさん、ありがとう」と伝えたい一冊です。出産祝い、子どもたちへ、ご自分へのプレゼントにもどうぞ。



ISBN 978-4-7661-2378-4

365日の寄せ植えスタイル 秋・冬シーズン

黒田 健太郎著 グラフィック社

庭も秋の模様替えをする季節になりました。秋冬の草花は次々と花が咲き、春まで楽しめます。また、寒さが増す時期は生育が遅くなり管理も簡単です。本書では寄せ植えする際の配置のポイント、生育方法などが掲載されています。華やかな寄せ植えで秋冬シーズンの庭にいろどりを！

(産業分野担当 藤木)



本体 550 円+税 978-4-10-125343-5
※画像は単行本のもです。

冬虫夏草 (新潮文庫)

本澤さんのおすすめ

梨木 香歩著 新潮社

亡き友の家を守る物書きの綿貫征四郎は、姿を消した飼い犬のゴローを探しに鈴鹿の山中へと入る。河童の少年や天狗、秋の花実。荘厳な滝。赤竜の化身に、宿を営むイワナの夫婦。人間と精たちがともに暮らす清澄な山の風景を征四郎の見た世界のままに描きます。幻想的に彩られながらも、どこか懐かしい日本の原風景を旅するささやかな冒険譚です。



ISBN 978-4-406-03098-4

ドンと鳴った花火だ (歌いたくなる写真集)

國房 魁著 新日本出版社

子どもの頃歌った懐かしい歌が、生き生きとした子どもたちの写真と共に紹介されています。サブタイトルにあるように思わず歌ってしまった歌があります。楽譜は載っていませんが、知らない歌の歌詞は詩として楽しめます。作者の國房さんと写真の子どもたちとの会話やエピソードなどもあり、心がほんわかします。

(宗賀分館 横山)



ISBN 978-4-480-68702-9

先生はえらい (ちくまプリマー新書)

内田 樹著 筑摩書房

誰でも学生時代の記憶に残る先生がいるはず。でも、この先生についていきたい！ というほどに尊敬する恩師に出会えるのは稀です。この本では、そういった先生とはいったいどんな人物なのか、学ぶとは、コミュニケーションとは何かを、恋愛や大航海時代の交易に例えて見事に解説しています。著者の魅力にはまること間違いなし！

(一般書担当 吉田)

秋の『ブック&カフェ』を開催します。10/14(土)10:00～16:00。浜このみさんも出店予定です。ぜひお出かけくださいませ。店内では『秋を感じる美味しいもの、作っちゃおう！』フェア開催中！

塩尻市広丘高出 1494-6

TEL:0263-54-3968 営:9:00～23:00(年中無休)



丸文塩尻書店



えんぱーくから3階渡り廊下を使って徒歩約1分！
図書館で気に入った本、店頭にはない本は最短3日でお取り寄せいたします。
話題の本、文具も充実。お子様連れでも安心のキッズスペース完備でお待ちしております。

塩尻市大門一番町 7-1 ウイングロードビル 2 階
TEL:0263-52-5515 営:10:00～19:00(元日休)



長野県書店商業組合主催

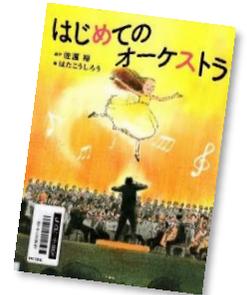


第4回 長野県絵本大賞

「長野県絵本大賞」の一般投票による部門の大賞に『はじめてのオーケストラ』（小学館）が選ばれ、このほど松本市中央図書館で授賞式が開催されました。

同書は、指揮者をパパに持つ6才の女の子「みーちゃん」の、初めてオーケストラの演奏会へ行くワクワク感や会場での感動を描いた作品です。

授賞式では、原作者で指揮者の佐渡裕さんからのビデオメッセージの紹介と、絵を手掛けたはたこうしろうさんの講演がありました。はたさんは、「未知の分野を描き自分の世界が広がった。オーケストラを知らない子どもたちに読んでほしい」と話していました。



本体 1,500円+税
978-4-09-726671-6

↓↓ 図書館員が選んだおすすめ本 ↓↓

ねないこはわたし

せな けいこ作・絵 文藝春秋



ISBN 978-4-16-390484-9

怖いけどかわいい、かわいいけど怖い絵本『ねないこだれだ』の作者せなけいこさん。“「おばけに会いたい」が私の口癖だった。だからねないこはわたしなの”と、絵本の作り方や自分自身について語り掛けるように綴り、その優しくかわいらしい言葉は、まるでないしょ話を聞いているようです。大人と子どもが一緒に楽しめる一冊です。
(児童書担当 青山)

ずかん たね 見ながら学習調べてなっとく

近田 文弘著, 久保 秀一写真 技術評論社

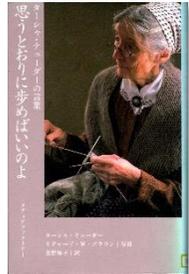


ISBN 978-4-7741-6565-3

秋はいろいろな木の実を目にする機会が増えます。この本には野山や家の近くで見たり、野菜や果物として私たちが食べたりしている果樹の種が載っています。大きな写真で、見ているだけでも新しい発見があって楽しい図鑑です。
(児童書担当 中村)

神田堂

大塚さんのおすすめ



思うとおりに歩めばいいのよ (ターシャの言葉)

ターシャ・テューダー文, リチャード・W.ブラウン写真, 食野 雅子訳
メディアファクトリー

絵本作家ターシャのナチュラルライフは、今なお力強い手本であり、そのベストセラーが文庫本化されました。「アドバイスは持ち合わせないが、自分がどう生きたいかの哲学は持っている」として「死さえ怖くないのは、人生に悔いがないから」と語っています。美しい花々に囲まれたたくさんの写真にも癒される一冊です

※画像は単行本のものです。

本体 680円+税 978-4-04-601571-6

当店はJR広丘駅北にあり、国道からは19号線「野村」信号を西に入ってすぐです。注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。



塩尻市広丘野村 1710-17
TEL:0263-52-1283
営:平日 9:00~21:00
土曜 9:00~20:00
日曜 12:00~20:00
(元日休)

興文堂 アイシティ 21 店

福田さんのおすすめ



ぜったいにおしちゃダメ?

ビル・コッターさく サンクチュアリ出版

最近では聞き手も読み聞かせに参加できる絵本が増えてきました。この絵本もその一つ。絶対に押してはダメなボタンが登場しますが、絵本のキャラクターがあの手この手で読み手に押させようと誘惑してきます。禁止されるほど気になってしまう子どもの気持ちをうまく利用している絵本です。

本体 980円+税 978-4-8014-0043-6

小さいお子さま向けのおはなし会を平田店にて開催。
10月15日(日)①午後1時30分から②午後2時30分から



平田店

松本市平田東 2-18-30
TEL:0263-58-0323
営:10:00~20:00(元日休)
アイシティ21店
山形村 7977 アイシティ21 2階
TEL:0263-97-3949
営:10:00~20:00(元日休)